



International Exchange Bulletin

とちぎ国際交流

第 20 号

1992年（平成4年）7月号
編集発行

(財)栃木県国際交流協会
Tochigi International Association
〒320 宇都宮市昭和1-2-16
栃木県自治会館1階・3階
TEL (0286) 21-0777(代)
FAX (0286) 21-0951



益子町・祇園祭の御神酒頂戴（とちぎのまつり百選より）提供：益子町役場

7月23日～25日の3日間、益子町で開催される祇園祭のメインイベントである“御神酒頂戴”的儀式は、24日午後1時から内町公民館で行われます。

関東三大奇祭のひとつであるこの儀式は、祭りの当番町の引き継ぎをするとき、1年365日になぞらえて、3升6合5勺（約6.5ℓ）の大盃になみなみと注がれたあつかん酒を、旧新当番町の代表10人が3杯飲まなければ引き継ぎができないというもので、無病息災、家内安全、五穀豊穣を祈ります。

The ceremony of “Omiki Choudai” (Drinking libation)

The Gion Festival will be held in Mashiko town on July 23rd, 24th and 25th. The ceremony of “Omiki Choudai” is the main event for the festival. This ceremony will start at 1

p.m. at Uchi-machi Kominkan (public hall) on 24th.

10 townpeople are selected from the district on duty of the festival both this year and next year. They have to drink three cups of 3 shyo 6 gou 5 shyaku (about 6.5ℓ) Sake (libation) associated with 365days of a year ; otherwise, they would not be allowed to take over the duty.

Transportation : 10min. walk from Mashiko Station (Moka line)

今号の主な内容

- ★食の楽園プロヴァンス料理のタベカメラルボ P 3
- ★平成4年度海外技術研修員紹介 P 4
- ★青少年国際交流員募集 P 6
- ★アジアのタベ・韓国編開催 P 8

退任のごあいさつ



財団法人
栃木県国際交流協会
前理事長 推津 弘之

新理事長ごあいさつ



財団法人
栃木県国際交流協会
理事長 田島 一郎

このたび、理事長職を退任させていただくことになりました。

昭和63年10月1日に財団法人栃木県国際交流協会が創立されて以来3年9か月の在任でした。県、市町村そして各関係機関、関係団体等の公私にわたる力強い御力添え等をいただきましたことに感謝して、心から厚く御礼と感謝の気持を捧げたいと思います。

御承知のように今や私達個人はもとよりですが、企業も地域もそして自治体やわが国も「国際化」「高齢化」「活性化」「環境保全化」等にどのように適正に対応するのかということが大きな課題になってきております。「世界と共に生きる日本」「豊かな生活が実現できる日本」ということがわが国の大きな国是でありますが、私達にも「共に生きる」「豊かな生活の実現」ということは大切なことです。これから国際交流も、ますます「ヒト・モノ・カネそして文化・制度・心」等のいろいろなカベを取り除く努力等がお互いに必要になってまいります。このようなときに県国際交流協会の果たす役割は更に大きなものとなってまいります。

今後の創立期から充実期に向かって大きな飛躍を祈念いたします。重ねてなにかと御指導や御力添え等をいただきました関係者の皆様方に心から感謝の気持を申し上げ退任の挨拶といたします。

このたび、財団法人栃木県国際交流協会理事長に就任いたしました。

21世紀に向けて、全国的に、国際交流の輪が広がっている状況のなか、栃木県におきましても地域性を活かした国際交流が年々進展しております。

特に、栃木県は近年、在県外国人の伸び率が著しく、市民レベルの日常的な生活上の交流の必要性を感じないではいられません。

そのためには、お互いがそれぞれの文化、慣習を尊重し合い、理解をもって接していくかなければならぬでしょう。

より活発な国際交流活動を推進することを目的として設立された当協会は、これらの時代の流れに鑑み、さらに、地域レベルの国際交流を推進する中核的組織として、今後も一層、情報収集事業、広報出版事業、研修事業及び相談事業をはじめ、各種の交流交歓事業や国際協力推進事業等を開拓したいと思います。

国際交流活動に携わっておられる各界、各分野の方々との連携を深め、本県の国際化、国際交流、国際協力を総合的に押し進め、地域の発展と活性化に役立ちたいと考えております。

これからも当協会役員一同、手をたずさえて皆様のご期待に応えるよう努力いたします。何卒、ご指導、ご助言等を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

食の楽園 プロヴァンス料理の夕べ カメラルポ

栃木県と友好関係にあるフランス、ヴォークリューズ県のアヴィニョンの名シェフ、クリスティアン・エティエンヌ氏を迎えて、5月9日(土)、宇都宮市内のレストランで『食の楽園、プロヴァンス料理の夕べ』(TIA主催)を開催しました。

独創性に富んだプロヴァンス料理をぜひ味わおうと、会場には100名以上が集まり、エティエンヌ氏のコンセプトによる数々の料理を堪能しました。



▲▼お気に入りの料理を求めて、いろいろ味わう参加者たち



▶名シェフ、クリスティアン・エティエンヌ氏(右)と、ヴォークリューズ県議会関係者のマリー・ジヨゼ女史



▲クリスティアン・エティエンヌ氏(写真中央)を囲んで、“アヴィニョンの橋の上で”を歌う参加者たち



素材を活かした
独創的な料理の数々



▲会場隣りの展示室で開催された、ヴォークリューズ県物産展

ようこそ とちぎへ

～平成4年度海外技術研修員紹介

8か国、15名の海外技術研修員が6月にやってきました。1か月間寝食を共にしながら、日本語集中トレーニングや生活ガイダンス等を受け、現在、それぞれ研修機関に配属されて、技術向上のための勉強に精を出しています。

研修期間は来年の3月までの9か月間。この間に、専門の技術・知識の習得はもちろん、日本の文化や習慣も学び、いろいろ体験して、よい思い出を持って帰ることができるよう頑張って下さい。(研修員敬称略)



▲前列左から、カルカモ、オディアンボ、ユーロヒオ、ボナベンチュウラー、ロンラット、ウイリー、アルベルト、後列左からロザーナ、マルガレッチ、瑞美、守之、翁、翁、姜、劉の各研修員

研修員プロフィール

- ①性別 ②年齢 ③国籍 ④母国語 ⑤研修科目 ⑥研修期間 ⑦メッセージ
- ▷ドナルド・カルカモ ①男 ②27 ③ホンジュラス ④スペイン語 ⑤算数教育 ⑥教育研修センター ⑦日本はおもしろいです。うつのみやはしづかなまちです。それと、わたしは日本語をたくさんおぼえたいとおもっています。
- ▷ローレンス・オディアンボ・アヨオ ①男 ②31 ③ケニア ④スワヒリ語 ⑤自動車整備 ⑥氏家高等産業技術学校 ⑦ケニアをだいひょうして、とちぎけんでけんしゅうするチャンスをえたことをかんしゃします。ありがとうございます。
- ▷ユーロヒオ・パスクア・オデロンJr. ①男 ②32 ③フィリピン ④タガログ語 ⑤電気修理 ⑥小島電機 ⑦みなさん、日本人ともだち。日本にくることができて、とてもうれしくおもいます。そしてともだちはみなしんせつです。
- ▷ボナベンチュウラー・アマニ ①男 ②33 ③タンザニア ④スワヒリ語 ⑤電話線路 ⑥NTT栃木支店 ⑦とちぎけんのみなさんは、とてもやさしく、あたたかくむかえてくれました。9か月、いっしょけんめいべんきょうします。
- ▷ロンラット・ジャルーンサップ ①女 ②28

③タイ ④タイ語 ⑤陶磁器 ⑥窯業指導所 ⑦にほんごではなすのは、とてもむずかしいです。日本でのんとうあるぶんかのべんきょうをするチャンスをくれて、ありがとうございます。

▷ビーエイ・ウィリー ①男 ②29 ③西サモア ④サモア語 ⑤自動車整備 ⑥栃木ヂーゼル ⑦わたしは、日本のテクノロジーだけいざいやぶんかのはってんに、とてもかんどうしました。にほんのかんきょうをたくさんまなびます。

▷館野アルベルト ①男 ②24 ③ブラジル ④ポルトガル語 ⑤花き栽培 ⑥農業試験場 ⑦研修員としてブラジルからまいりましたのは、栃木県の皆様方のおかげです。進んだ日本の農業技術を学びたいです。一生けんめいがんばります。どうぞよろしくお願ひします。

▷吉田ロザーナ敦子 ①女 ②24 ③ブラジル ④ポルトガル語 ⑤デザイン ⑥宇都宮デザイン電子専門学校 ⑦栃木県の人々はとてもやさしくて親切です。大変感心しました。私は、日本で学ぶことは、たくさんあると思います。研修のことは決して忘れないと思います。

▷池田マルガレッチ ①女 ②24 ③ブラジル ④ポルトガル語 ⑤PR ⑥松井ピテオ印刷 ⑦

日本についてはじめてかんじたのは、このくにではなんでもきちんとしているし、日本人はとても親切で、よくめんどうをしてくれるし、とてもすばらしい所だということです。

▶土屋瑞美ルシアーナ ①女 ②18 ③ブラジル
④ポルトガル語 ⑤美容技術 ⑥ヒロ美容室 ⑦私は、この栃木県の研修にくることができ、色々な方にお世話になります。たいへん感謝しています。ありがとうございます。

▶神立守之アルネスト ①男 ②26 ③ブラジル
④ポルトガル語 ⑤家畜飼育 ⑥畜産試験場 ⑦日本はとてもきちんとしていて、私はいい目でみんなを見ています。お世話になる人々に、かんしゃの気持ちを申し上げます。

▶俞頌東 ①男 ②42 ③中国 ④中国語 ⑤家畜人工授精 ⑥酪農試験場 ⑦栃木県の進歩している家畜繁殖の技術を勉強できる今回のチャンス

に、私はとても注目しています。同時に日本の友人の親切さに心から感謝しています。

▶翁景清 ①男 ②35 ③中国 ④中国語 ⑤防疫技術 ⑥衛生研究所 ⑦私はウィルス摘出、細胞の培養及びワクチンの純化などの技術を研修し本場の日本語を身につけ、日本人の皆様と仲良くなるのを研修の目的としています。

▶姜海軍 ①男 ②29 ③中国 ④中国語 ⑤土地改良 ⑥栃木県農務部土地改良課 ⑦初めての日本の体験ですが、日本のみなさんとの厚い友情と豊富な専門知識を持って帰りたいです。

▶劉魯群 ①男 ②40 ③中国 ④中国語 ⑤日本語及び日本文化 ⑥宇都宮北高等学校 ⑦生きた日本語を身につけて、多くの友達をつくり、帰国後、両省県の友好交流を促進するため努力するのが研修の目的あります。

こちら国際交流最前線 ~宇都宮SGGクラブ

私たち“宇都宮SGGクラブ”は、国際観光振興会に登録した善意通訳者のメンバーを中心に構成されています。事務局をJR宇都宮駅構内の宇都宮市観光案内所（i案内所）に置き、当市を訪れる外国人観光客の言葉の不便をなくし、安心して楽しく旅行ができるよう接遇を図ることを目的として、1989年11月に設立されました。

i案内所の活動を中心に、個人的な善意ガイドの要請に応じられるように、3つのグループに分かれています。ガイドの実際、ガイドのためのマニュアル作り、イベントの司会進行などについて、定期的に研修を行っています。

1990年に開催された世界自転車競技会では、会場や駅での通訳、イベントへの参加などで活躍しました。

昨年度は宇都宮市その他の善意通訳講習会に参加し、外国人旅行者への接し方を学びました。

今後もさらに研鑽を積み、多くの仲間を集め、外国人旅行者の方々に喜んでいただけるようにしていきたいと思っています。



セレモニーホール
センチュリー
へいあん

宇都宮市鶴田町(平成・鹿沼インター通り沿い)

TEL 0286-48-1122 FAX 0120-48-1165

読者のひろば

◆外国人ともっと気軽に話そうよ

先日、宇都宮に行く途中のJR烏山線の電車の中で、バングラデシュから日本語の勉強に来て、烏山に住んでいるという青年に会った。

私が話しかけると、「宇都宮の日本語学校に通い日本人といろいろ話したいが、話しかけられたことはほとんどないし、こうやって話し合うのも初めてのことだ」、「今までに何回か自分から高校生などに話しかけたがほとんど避けられ、嫌な思いや寂しい思いをしたことが何回もある。だから、今は自分からはほとんど話しかけることはない」と言う。彼は意味のなかなか通じない私の英語を理解しようと一生懸命である。また、彼は私に「日本語を使って話してほしい」と言う。彼は日本語を勉強しに日本へ来ているからだそうだ。

電車やバスの中でこんな光景をよく見かける。座席に外国人が座っている。座れば座れるにもかかわらず乗客は立ったままである。また、同じ座席内に外国人が同席した時、お互いに無言のまま長時間座り続けることがよくある。

とにかく、毎日の生活の中で外国人と接する機会が増えたというよりどこにでもいる現在、言葉や生活習慣などの違いはあるものの、もっと勇気を持って接したり、話してみようではないか。

(南那須町・碓氷正和)



◆思いつくままに

思い起こせば、主人に無理を言って欧洲方面への新婚旅行を経験したのが11年前、月日の経つのは早いものです。

当時は、私達が外国人を経験したわけですが、今はどうでしょう、身近にかなりの諸外国人を見かけるようになりました。

昨年の暮れのことです。職場の忘年会があり温泉地に行きました。ようやく到着し、ロビーでホッと一息つき「コーヒーでも飲もうか」とウエイターを呼ぶと日本人ではありませんでした。「いらっしゃいませ、何に致しますか」と決して上手とは言えない日本語でしたが私達の注文を受けていました。

宴会打ち上げのラーメンを食べた後部屋へ戻ろうとした時、見当たらなかった片方のスリッパをすぐに持ってきて足元に置いてもらいました。

仕事とは言え、遠い異国の日本へ来て、しかも、真心込めて接待する姿に感動を覚えました。

現代人のともすれば忘がちになっている思いやりを教えてもらいました。

文化、習慣が異なる社会で生活してきた人なのですから、なかなかはじめるのは当然にしても、お互いの理解を深めつつ、仲良く、楽しく生活していきたいものです。

これからは、世界が一つになって取り組まねばならないことが益々多くなってきます。日本人だから、外国人だからという意識ではなく、地球家族の一員として過ごせるようにならなくてはならないと思います。 (鹿沼市・秋沢理栄)

※当コーナーでは、みなさまからの投稿をお待ちしております。



宇都宮←成田空港

直通高速バス マロニエ号

空港ターミナル4F出発ロビーに直行！ 毎日4往復・4000円

▶JR宇都宮駅西口関東チサンホテル前 16番のりば発 ▶ 5:20 8:30 12:00 14:00

▶成田空港1F到着ロビー京成カウンター前6番のりば発 ▶ 8:05 15:30 17:00 19:40

ご予約・お問合せ **☎0286-38-1730** または関東バス各営業所へ

関東バス

国際交流Q&A [外国人が日本で日本語の勉強をするには]

Q. 日本の日本語学校で勉強したいのですが、どのような手続きが必要ですか？

A. まず、日本国籍以外の人が日本に入国する場合、その目的にあった査証（ビザ）を取得する必要があります。質問者の場合、査証区分としては「一般」それに対応する在留資格は「就学」として入国（上陸）許可されなければなりません。査証取得には、外国人本人が自国等にある日本の在外公館で査証申請をするか、本人またはその代理人が日本国内（地方入国管理局）で「在留資格認定証明書」の交付を受け、外国人本人がこの「在留資格認定証明書」を日本の在外公館に提示して査証申請をする2つの方法があります。申請に必要な書類は、それぞれの申請書（査証申請書・在留資格認定証明書交付申請書）と①入学許可書の写し②申請人の履歴及び履歴を証明する資料③日

本滞在に必要な一切の費用を支弁できることを説明する資料④教育を受ける教育機関の概要を明らかにする資料⑤受ける教育の内容（科目、時間数）を明らかにする資料⑥申請人が作成した申請本人の卒業後の進路を説明する資料⑦日本に居住する身元保証人の身元保証書⑧その他必要となる資料です。在留資格認定証明書の交付を受ける場合は、申請者の身分を証明するものも必要になります。

在外公館で査証が発給されたら、それを旅券（パスポート）に取り付けて日本に入国し、上陸が許可されると旅券に「上陸許可証印」が押されます。その証印の在留資格の欄は「就学」となり、在留期間は申請者によって1年、6か月又は3か月となります。なお、在留期間の更新は日本国内（地方入国管理局）で手続きできます。

協会日誌（1992.6.1～1992.7.31）

- 6/2 英会話講座開講（於石橋町中央公民館：石橋町国際交流協会と共に）
6/3.11 平成4年度海外技術研修員入国
6/9 スペイン語講座開講（協会研修室）
6/14 県費留学生・海外技術研修員県民の日“悠久もおか92”視察（真岡市）
6/17 佐野市国際交流協会設立総会（佐野市）
6/26 平成4年度海外技術研修員知事・副知事表敬（県庁）
6/28 国際連合公用語・英語検定第一次試験（作新学院）
6/30 第10回協会理事会（自治会館）
7/2 青海省訪日団協会表敬（自治会館）
7/2 青年海外協力隊第1次隊協会表敬（自治会館）
7/2～3 国際交流団体全国協議会（広島）
7/6 海外技術研修員研修機関配置
7/7 浙江省経済視察団協会表敬（自治会館）
7/11 足利市国際交流協会設立総会（足利市）
7/31～8/3 日本・韓国青年親善交流（韓国青年招へい／栃木県内）

Now! News

高校生の異文化体験！ 青少年国際交流員募集

外国の家庭に1年間、家族の一員として入り、異文化を体験しながら国際的友情の輪を広げる海外留学プログラム『青少年国際交流員』（TIA他共催）を下記のとおり募集します。

- ▶ 参加資格＝昭和50年4月2日～昭和53年4月1日に生まれた者で、県内の高等学校または高等専門学校に在校している者
▶ 募集定員＝1名
▶ 派遣先対象国＝北米、ヨーロッパの1か国
▶ 募集期限＝1992年7月31日（金）（当日消印有効）
▶ 申込方法＝1,500円切手を同封して、〒150東京都渋谷区渋谷2-1-12ふくでんビル YFU日本協会自治体交流係まで申込用紙を請求
▶ 選考日程＝1992年8月～9月
▶ 選考方法＝第一次選考…書類選考、学力テスト、（英語、常識、心理適性）、面接（英会話、保護者、学生面接） 第二次選考…第一次選考合格者の最終面接
▶ 奨学金＝留学プログラム参加費の全額
▶ 滞在予定期間＝1993年8月～1994年6月

TIA Information Corner

第II期日本語講座開講

第II期日本語講座を次のとおり開催します。

▶対象=在県外国人
▶期間=1992年8月5日(水)~12月2日(水)の毎週水曜、18:00~20:00
▶場所・募集定員=TIA 3階研修室・20名
▶受講料=無料(ただしテキスト代は実費)
～T.I.A "Japanese Class" for foreigners～
The Japanese Class for foreign residents in Tochigi prefecture will be held as follows:
Date : From August 5th, 1992 to December 2nd, 1992. (Every Wednesday)
Time : 18:00~20:00
Place : The Tochigi International Association (3fl.)
We accept up to 20 students. Tuition fee is free, however, the students have to buy a textbook(A textbook cost about 2,000yen).
For more information, call T.I.A. at 0286-21-0777.

アジアの夕べ韓国編開催!

今年で4回目を迎える「外国文化紹介～アジアの夕べ」。今回は「韓国」をテーマに開催します。

▶日時=1992年8月29日(土) 16:00~20:00
▶場所=鹿沼市民文化センター
▶入場料=無料

T.I.A. EVENT INFORMATION
～～The fourth "Asian Night"～～
This year's "Asian Night" will be held at Kanuma city focusing on Korea.
The schedule is as follows :

Date : Saturday, August 29, 1992.

Time : 16:00~20:00

Place : Kanuma Shimin Bunka Center

Entrance fee : FREE

For further information, call T.I.A. at (0286) 21-0777

—The news for "bilingual ATM(Automatic Teller Machine)" —

The Ashikaga Bank introduced new ATM. If you touch the English section of the bilingual ATM screen, the following operating instruction will be displayed in English

You will find this bilingual ATM at main branches of the Ashikaga Bank.



編集後記

梅雨の到来とともに、15名の海外技術研修員がやってきました。ホンジュラスのカルカモさんは28歳でなんと小学校(生徒数500名)の校長先生!教育熱心で、日本での研修にかける意気込みが感じられます。

1か月間の日本語研修で、自己紹介も上手にできるようになりました。来年の3月には、日本語で冗談が言えるぐらいになってほしいですね。

お知らせ

財団法人栃木県国際交流協会は7月から、毎週土曜日を休ませていただくことになりました。

The Tochigi International Association has been closed every Saturday from July. Thank you for your cooperation.

●ご案内図



※財団法人栃木県国際交流協会では、各企業・団体からのご出捐をお願いしております。当協会の事業にご賛同下さるみなさまのお力添えをよろしくお願い申し上げます。